

パシフィコ・エナジー 日本最大の発電容量を持つ太陽光発電所建設を開始

【2017年4月20日】

パシフィコ・エナジー株式会社（本社：東京都港区）は、岡山県美作市において、日本最大の発電容量257.7メガワット（直流ベース）を誇る太陽光発電所（作東メガソーラー発電所）の建設を開始します旨ここにお知らせ致します。

発電施設は、岡山県美作市土居他の旧作東セントバレンタインリゾート計画跡地、及び旧ペニンシュラゴルフクラブ湯郷コースの跡地（400ha余）を利用して建設され、2019年9月（建設期間30か月）の運転開始を予定しております。完成後には、年間約290百万キロワット時の発電量を想定しており、年間およそ20万トンの二酸化炭素排出削減に貢献します。発電した電力は、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づき、中国電力株式会社に全量販売されます。

当社は、岡山県内においては久米郡、美作市にて既に2件の太陽光発電所の建設完了、商業運転を開始しており、本発電所は県内3件目となります。当社は、世界各国で培った発電事業開発・建設・運営の経験と蓄積したノウハウを活かし、今後とも地域社会の皆様と協力し、地球環境に優しく、地域社会に貢献できる発電所の建設を推進して参ります。

作東メガソーラー発電所 完成イメージ図



パシフィコ・エナジーについて パシフィコ・エナジーは2012年会社創立以来、日本全国各地にて大規模太陽光発電プロジェクトを手掛けており、これまで3か所（計131メガワット、直流ベース）で発電所建設、商業運転を開始しております。現在、宮崎県内で96メガワット（直流ベース）の発電所を建設中です。また開発中の発電所プロジェクトも多数進行中でございます。詳しくは <http://www.pacificoenergy.jp/> をご覧ください。

日本における問い合わせ先 広報担当部 電話:03-4540-7830 / Email: info@pacificoenergy.jp